

十国峠ハイキング

開催日：2024年3月20日（水・祝） 健脚LV2 1万8000歩 11km

集合：JR湯河原駅 8時30分

コース：湯河原駅→（バス）→落合橋バス停→万葉公園文学の小径→溪流散策路→惣湯テラスの広場→日金山ハイキングコース→日金山登山口→東光寺→十国峠（標高771m）→姫の沢公園→アスレチックコース→三春の滝桜広場→姫の沢公園バス停→熱海駅

参加者：河野L 市村SL 山田SL 勅使河原 平石 清水 井内 岩元 松本 亀田 田村 佐藤し
12名

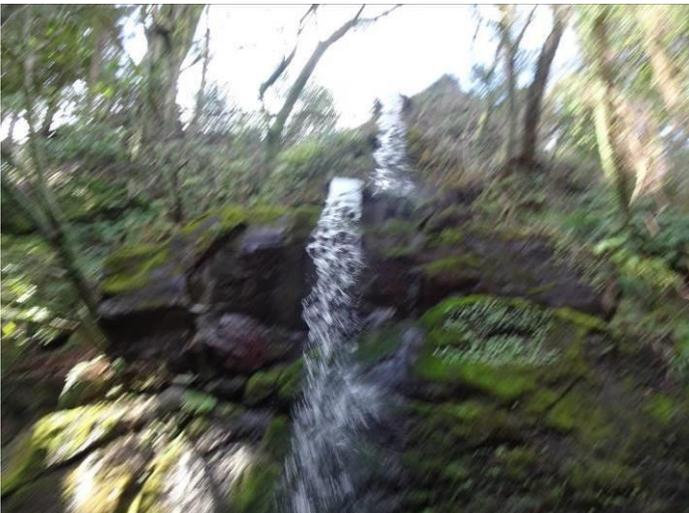
十国峠は、箱根外輪山から南に続く山で、旧国十国（伊豆、駿河、遠江、甲斐、信濃、相模、武蔵、上総、下総、安房）が展望できることから名づけられました。360度の大パノラマで、気象条件が良ければ富士山がどんと大きく裾野まで見えます。熱海と湯河原をまたぐ日金山（ひがねさん）。昔から死者の霊が集まる霊山として信仰されており、春秋の彼岸に登ると「逢いたい人の後ろ姿が見える」ともいわれています。まさに春彼岸中日の20日、日金山ハイキングコースで東光寺、日金山をめざしました。

3月20日の気象情報、前日時点で神奈川県内は時折雨模様。雨雲レーダーは神奈川県域にかかっていますが静岡県側にはかかっておらず、熱海市や十国峠のピンポイント予報は終日晴、十国峠の最高気温は10℃で風速は13m/s。20日は、予報通りの快晴で山頂に近づくにつれて風が強くなり、十国峠は帽子が飛ばされそうな状態、富士山山頂は見え少し残念でしたが次の機会に。それでも360度の大パノラマで十国を展望でき、汗をかいて上ってきたので感慨倍増です。



湯河原駅8時30分～落合橋バス停8時40分～万葉公園文学の小径

集合は湯河原駅、温泉の町の雰囲気漂う「湯河原駅」と書かれた暖簾の横に「海拔30.1m」の表示が見えます。バス待ちの時間を利用して河野リーダーがコース説明。2番バス停から8時30分発の奥湯河原行きバスに乗車、温泉街を通り10分ほどで落合橋バス停へ。藤木川に架かる万葉橋を渡り万葉公園の文学の小径へ入ります。トンネルの入り口のところに「足柄の土肥の河内に出づる湯の世にもたよらに子ろが言はなくに」と万葉集4500首の中の一詩、温泉のこんこんと湧出している様子を詠った佐々木信綱の句碑があります。薄暗いトンネルをくぐると千歳川に2段の滝が水しぶきを上げて落ちていました。



溪流散策路～惣湯テラスの広場 ストレッチ 9時8分～アスファルト道

千歳川沿いを少し進むともう一つ滝が流れ落ちていました。石段を上って、左下の千歳川のせせらぎを聞きながら溪流散策路を歩いていくと惣湯テラスの広場へ。鶯の鳴き声が聞こえ、風が吹き抜ける素敵な空間です。広場の一角には最近新設されたと思われる洒落た木造建物のトイレがあり、写真をパチリ。河野さんのリードでストレッチをして9時8分、スタートです。千歳川に架かる小さな橋を渡り万葉公園を出ます。石段を上ってアスファルト道に出ると「岩殿観音」と「日金山」の標識が立っていて日金山ハイキングコースに入りました。緩やかな坂道を上っていくと右手前方に岩戸山が見えています。



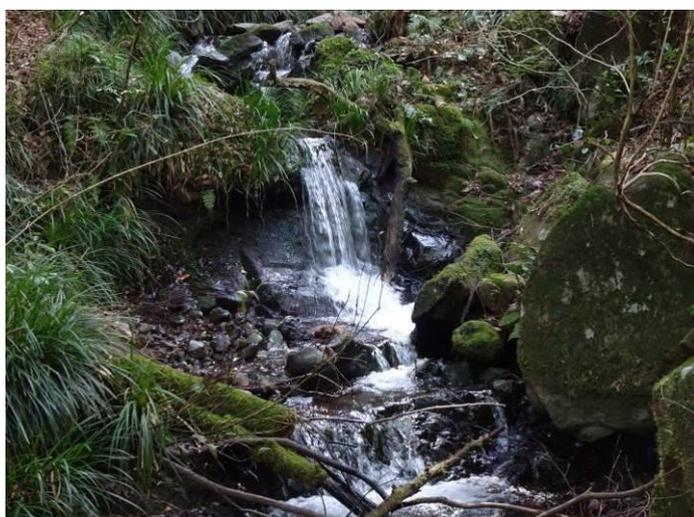
日金山ハイキングコース～六丁仏～十八丁仏～9時43分 登山口

少し上ると「六丁目」と刻まれた丁仏がありました。この丁仏は一丁（109m）ごとに設置されていて、一丁目～四十二丁目まであります。このアスファルト道の下の方に起点の一丁目があったと思われます。右下の千歳川の斜面にはミカン畑が広がり、「ヤマメ解禁、3月3日」の看板が出ていました。十一丁目の丁仏を過ぎ、左へ進むと「岩殿観音」がありますが、日金山ハイキングコースは直進です。前方に水道施設の巨大な貯水タンクが見えてきました。さらに上り十八丁仏のところへ。9時43分に登山口に到着、大分暑くなってきました。ここで水分補給と衣類調整、クッキーの差し入れもあり元気が出ました。



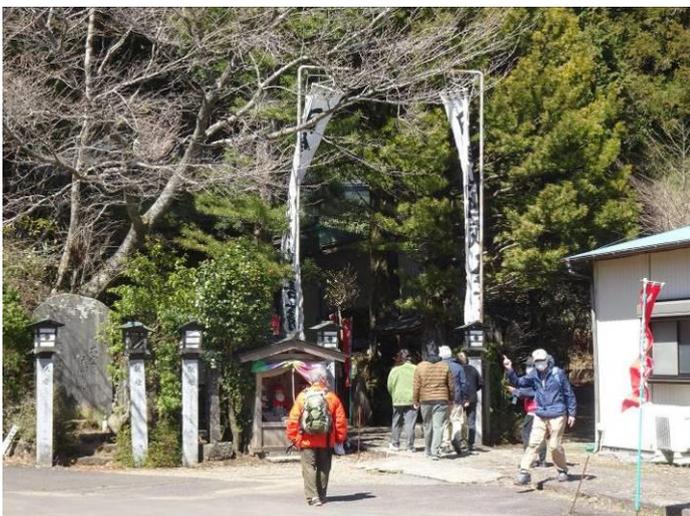
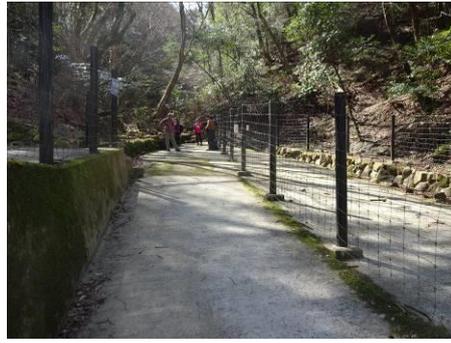
登山口 9時47分～山道～沢沿いの道～二十七丁仏～10時14分 林道

登山口を9時47分にスタート、軽い足取りで山道に入ります。緩やかな上り道、急な上り道を繰り返して上っていきます。いくつか丁仏を通過して、10分ほど歩くと二十三丁仏が見えてきました。信仰で日金山に上った人も丁仏を励みに上ったことでしょう。沢沿いの道に入り、勢いよく流れる水の音を聞きながら上っていきます。木橋をいくつか渡り、沢の左岸と右岸を行ったり来たりして上っていきます。小さな滝をいくつか通過、山道に入って20分ほど経ちましたので小休憩。衣類調整と水分補給をして再スタート。二十七丁仏を通過してから少し上り、10時14分に林道へ出ました。後続グループも少し遅れて到着です。



林道～急登～三十八丁仏～1 1時2分 尾根道～1 1時1 1分 東光寺

熱海市の水道施設の横を通り抜けると本格的な山道へ。三十二丁仏を通過して三十三丁仏のところで小休憩、谷あいを吹き抜けていく風が心地よく感じます。夏ミカンの手作り甘漬けの差し入れがあり、元気を出して上り再開。沢の幅がだいぶ狭くなりました。急登を上って三十八丁仏に出ると空が開けてきて1 1時2分、私たち第2グループが尾根道に到着。少し前に着いた河野さんらの第1グループが迎えてくれました。左へ行くと岩戸山、右がめざす十国峠。私がここで後続グループを待ち、姫の沢公園の入り口で落ち合うことにしました。まもなくして山田SLグループが到着、尾根道を歩き1 1時1 1分に東光寺へ着きました。



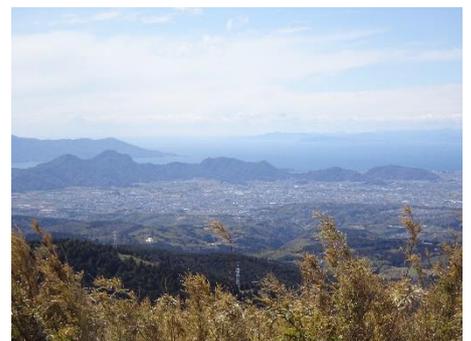
姫の沢公園～11時33分 十国峠（標高771m）360度の大パノラマ

この日は春彼岸の中日、墓参りをする参拝者で賑わっていました。本堂で法要が行われていて、スピーカーから御詠歌が流れていました。南無日金地蔵尊の赤い幟が立つ参道を上っていきます。姫の沢公園の上の入り口に着き、先行グループと合流。風が強く上着を着て十国峠をめざします。後方は相模湾、前方に十国峠のレストハウスが見えてきました。しかし、下見の日（1月17日）に見えた富士山は雲がかかっています。11時33分、標高771mの十国峠に到着、360度の大パノラマの絶景です。帽子が飛ばされそうな風を避けて昼食タイム、この人はレストハウスで飲み物を注文してゆったり昼食タイムです。



十国（伊豆 駿河 遠江 甲斐 信濃 相模 武蔵 上総 下総 安房）一望

十国峠にはケーブルカーで上がってこられ、外国の観光者も多く見受けられました。「十国峠」というモニュメントの前でみなさん写真撮影、後方に富士山が見えれば最高ですが、この時間は雲隠れ。それでもその名の通り十国（伊豆、駿河、遠江、甲斐、信濃、相模、武蔵、上総、下総、安房）が見渡せて大満足、汗をかいて上って来た疲れも吹き飛びました。伊豆国の方向には駿河湾と沼津アルプス、遠くに大室山。信濃国の方向には南アルプスの連山、手前に愛鷹山。相模国、下総国、武蔵国の方向には相模湾、その先に三浦半島と伊豆半島、手前に真鶴半島、左に目を移すと箱根連山と駒ヶ岳の山容が見えました。



十国峠 12時25分～姫の沢公園 前方に大島～アスレックスコース

12時25分、下山開始です。上ってきた道に戻り、山の斜面の広大な姫の沢公園に入ります。南方向の相模湾に大島、手前に初島が見えます。コースは、公園の北から南へアスレックスBコース（青丸）の緩やかな坂道を下って行きます。㊿は宇宙遊泳、少年が上手く渡っていったので後ろから写真を撮らせていただきました。下見のときは、風間さんがいくつかアスレックスに挑戦して下りて行きました。



三春の滝桜広場～13時45分 姫の沢公園バス停 1万8000歩 11km

三春の滝桜の広場まで下りてきて小休憩。福島県郡山市から熱海市との友好の証として苗木が寄贈された紅しだれ桜です。3月に入って寒い日が続き、まだ蕾でした。風もなくなり暖かい日和、ゆったり歩きで下りて行くと熱海の港が見えてきました。姫の丘公園はつつじの名所ですが、色づくのは5月ごろでしょうか。少し下ったところに1本の桜の木、枝先に淡い色の花びらが青空に映えていました。13時45分、姫の沢公園バス停に下山。歩数1万8000歩、距離11kmのハイキングでした。13時55分発のバスが5分ほど遅れて到着。来宮神社、熱海の海岸を経由して14時30分に観光客であふれる熱海駅へ着きました。



今回のコースは河野さんの企画、吉野さんが10年前の2014年10月29日に行った「十国峠ハイキング」のほぼ逆コースです。10年前は熱海駅から十国峠～湯河原駅までバスを使用しないで、18人（吉野、勅使河原、饗場、常盤、神谷、小野里、菊池、新谷、中村年、河野、加来、山内、渡辺、横田、高橋紀、山川、高木、中村ゆ）が歩き通しました。今回も参加しているのは勅使河原さんと河野さんの2人です。

(いちむら記)